



# 指導救命士の運用開始から 指導救命士による研修体制の 確立に向けて



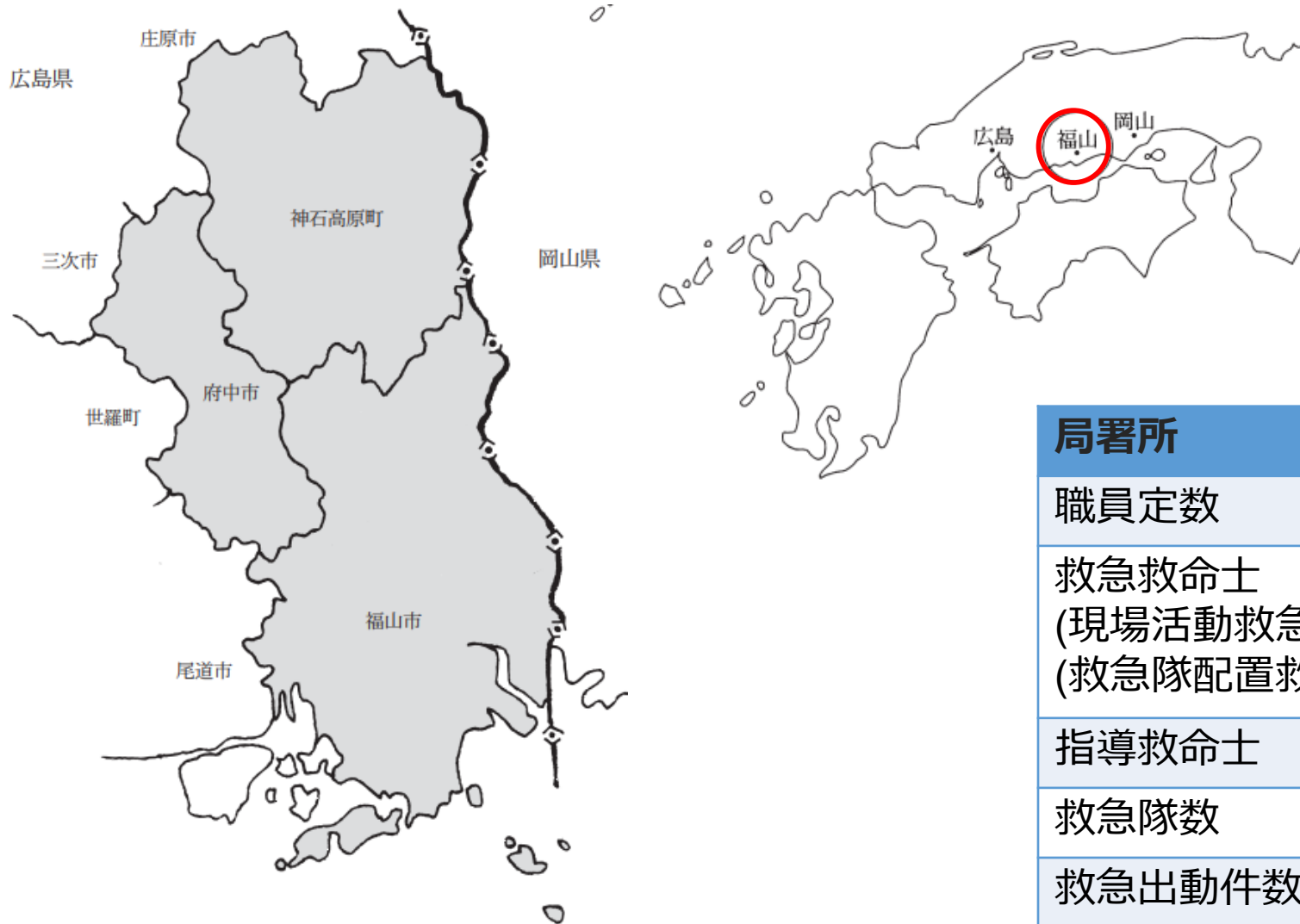
杉原教鐘<sup>1)2)</sup>

<sup>1</sup> 福山地区消防組合消防局

<sup>2</sup> 広島県 福山・府中圏域MC協議会

# 当消防本部の概要（1消防本部1MC体制）

2022.4.1現在



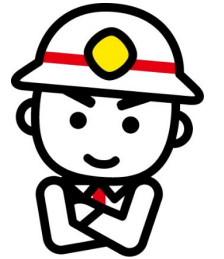
管内人口	507,050人
管内 (2市1町)	福山市 府中市 神石高原町
医療機関	三次病院:1(Drカ-) 二次病院:17

局署所	1局8署1分署6出張所
職員定数	552人
救急救命士 (現場活動救急救命士) (救急隊配置救急救命士)	167人 (132人) (108人)
指導救命士	3人(局2人・副署長1人)
救急隊数	15隊 (2交替制)
救急出動件数	21,401件 (2021年中)

# 指導救命士 運用開始**以前**の教育体制

▷広島県の救命士は2年間で再教育128ポイント必要  
(病院実習48ポイント以上・日常教育最大80ポイント)

▷しかし、当消防本部の128ポイント取得者は**約20%**



▷救命士取得後の研修は、**病院実習**・**症例研究会**・**消防学校派遣**のみ

★**指導救命士の運用開始に伴い再教育体制をどうにかしなければ・・・**

# 指導救命士 運用開始以後の教育体制

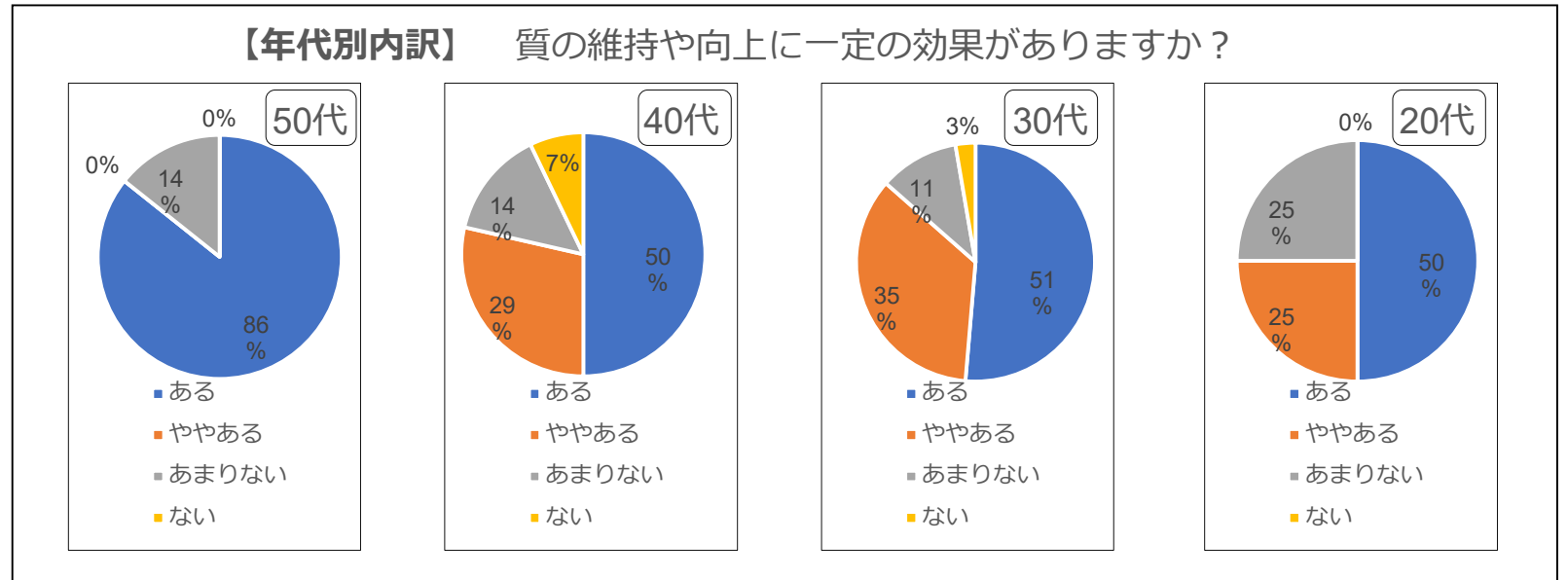
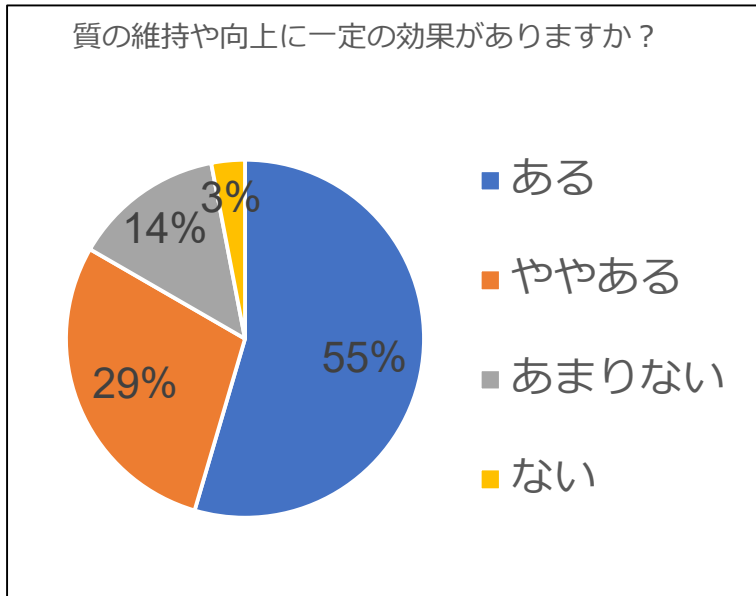
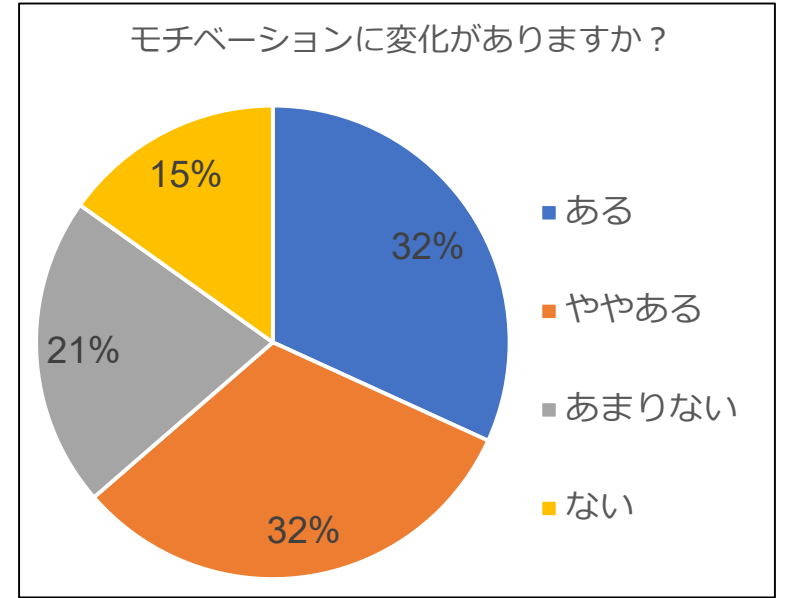
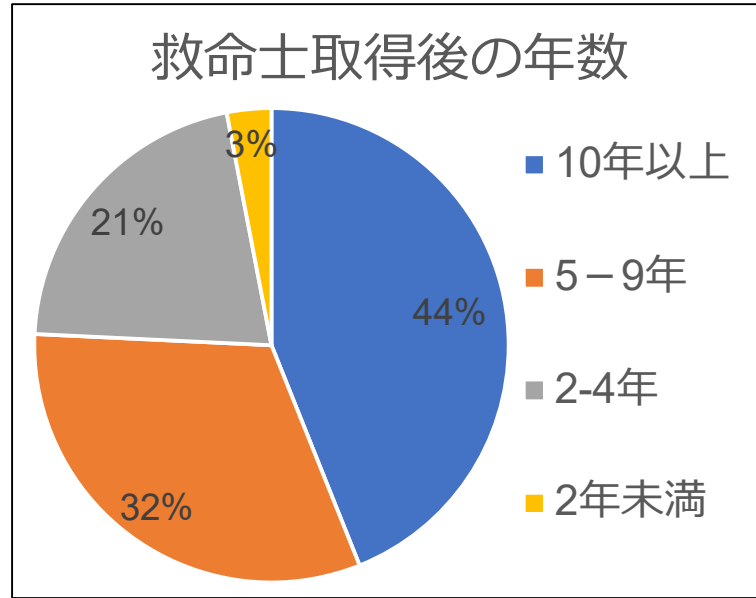
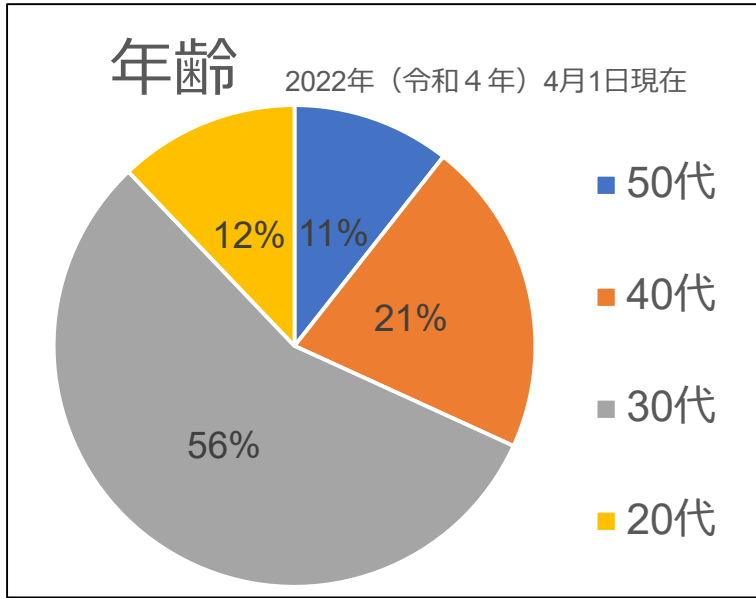
集合研修で実施(参加者は各所属で調整)

日常教育80ポイントを指導救命士による研修で取得可能な体制へ！

	研修科目	対象者	回数/年度	勤務体制	形態
実習	病院実習 (気管挿管除く)	126人 (救助隊除く)	80時間 or 48時間	日勤 or 24時間	消防局で実習計画を作成 指導救命士は日勤で8日(不規則)
	シミュレーション研修	132人	8回 (8:30~17:15)	日勤	原則, 1人1回参加
座学	救急隊長研修 &副隊長研修	隊長30人 or 副隊長30人	4回 (8:30~17:15)	日勤	隊長 or 副隊長が日勤で 2日連続参加
	救急隊員研修	隊員72人 (消防隊・救助隊含む)	4回 (8:30~17:15)	日勤	隊員が日勤で2日連続参加
	症例研究会	132人	6回 (17:00~19:00)	非番	1人2回参加(残りは自主参加)

# アンケート調査結果(指導救命士制度について)

2022.12.9実施



# ①全国に普及することができる点

## ▶PROSTを活用したオリジナルのシミュレーション研修など

- ▷原則，日勤で1人1回参加
- ▷「呼吸・脈拍」評価訓練をルーティン化・点数化
- ▷PROSTの想定を活用
- ▷事前準備が比較的簡単（患者役の傷病者カードを準備）
- ▷4班編成（実施班・補助班・評価班・準備班）
- ▷1シナリオ50分（訓練20分・フィードバック30分）
- ▷振り返り重視（振り返りマニュアルも活用）
- ▷マニュアルをベースに指導技法を加えた指導
- ▷指導者が変わっても一定の質を保った指導が可能





# ②全国に普及することができる点

## ▶座学研修

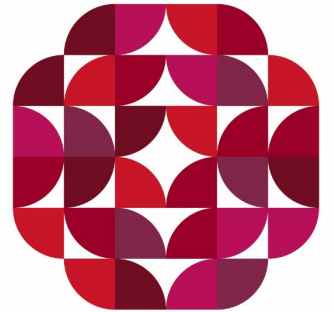
- ・「隊長&副隊長研修」
- ・「隊員研修」
- ・「症例研究会」

- ▷2日連続参加（日勤）：2日で2年分の受講
- ▷消防学校・エルスタでの研修内容を活用
- ▷シンポジウムの発表内容を活用
- ▷正確なデータ入力の徹底
- ▷グループ形式によるディスカッションを採用
- ▷事前課題を設定：当日発表→ディスカッション
- ▷一部外部講師によるプログラムも活用
- ▷POTの活用



# 結語

- ▷ 誰が指導しても質を一定に保つ研修体制の確立
- ▷ 他の研修（警防・救助・予防等）とのバランスを考慮した研修体制の確立
- ▷ 研修体制の確立により救命士の再教育にも一定の効果
- ▷ 実施後のアンケート調査を毎回実施
- ▷ MC医師との連携も重要
- ▷ 指導救命士の適正人数・配置先の検討
- ▷ 広島県指導救命士会の設立



WFRS 20th  
WORLD ROSE  
CONVENTION

2025

in FUKUYAMA

第20回 世界バラ会議福山大会